

教科 技術・家庭(家庭分野) 学年 第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B衣食住の生活 1 目的に応じた衣服の選択 2 日常着の手入れと保管	9	◇人間の生活と衣服の役割を知る。 ◇目的に応じた着方や、個性を活かした着用の仕方を考える。 ◇身体と動作に応じた衣服の基本的な構成を知る。 ◇衣服材料に応じた適切な手入れの方法を知る。 ◇製作に必要な採寸箇所と採寸方法を知る。	○衣服の役割について理解できる。 ○コーディネートについて理解することができる。 ○取り扱い表示を理解することができる。 ○メジャーを用いて、採寸することができる。 ○定期考査	○社会生活をしていく上で、衣服の機能に関心をもち、T・P・Oに応じた衣服の着用が判断でき、加えて、個性を活かした着用の提案ができる。 ○衣服材料に応じた日常着の手入れや補修について、効率的な方法を見出し、適切な処置を提案することができる。	○衣服に興味・関心をもつことができ、日常着の特徴についてまとめることができる。 ○自分にあった服のコーディネートについて、提案・プレゼンテーションをすることができる。
B 衣食住の生活 3生活を豊かにするものの製作	12	◇ミシンの取り扱い、各部の名称を知る。 ◇下衣の製作ができる。	○ミシンの基本的操作を理解することができる。 ○ミシンの糸掛けができる。 ○ミシンの直線縫い、カーブ縫い、返し縫いができる。 ○作品の仕上げができる。 ○定期考査 ○実技テスト	○ミシンの構造を理解し、布を縫い合わせるために、ミシンの操作を適切に行い、作品を作り上げることができる。	○製作計画を立て、見通しをもって計画通りに製作を進めることができる。 ○より自分らしいデザインを自ら工夫し、実践することができる。
B衣食住の生活 1住まいのはたらきとこちよさ 2安全な住まいで安心な暮らし	8	◇家族が住まう空間としての住居の機能を知る。 ◇安全で快適な室内環境の整え方を知り、よりよい住まい方の工夫を考える。	○住まいの役割について、理解することができる。 ○住居の機能や安全性について理解することができる。 ○清掃技能を身に着け実践することができる。 ○定期考査	○衛生的な室内整備に関心をもち考えることができ、適切な方法を選択し、加えてより快適に住まえる工夫をし、提案することができる。	○清掃計画を立てることができ、実践に向けた情報を収集し、取り組むことができる。 ○実践報告ができ、共有やプレゼンテーションをすることができる。
B衣食住の生活 4日常食の調理	6	◇野菜の下準備を知る。 ◇肉の取り扱いについて知る。 ◇魚の取り扱いについて知る。 ◇1日分の献立作成ができる。	○食品や調理器具を適切に扱うことができる。 ○洗う、切る、加熱する、調味するなどの基本的な調理操作ができる。 ○実技テスト	○野菜、肉、魚の特徴について考え、適切な調理方法を選択し、実践的な献立を提案することができる。	○調理計画を立てることができ、見通しをもって行動することができる。また、調理進行を予測して次の行動に自ら移すことができる。